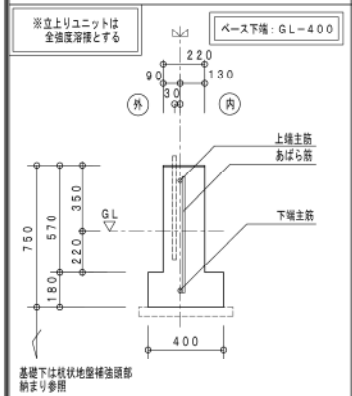
PS3AGN−40

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

※立上りユニットは全強度溶接とする

ベース下端：GL−400

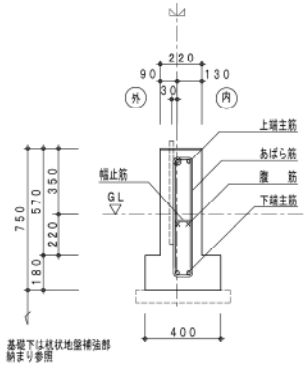


上端主筋	1−D22（SD345）
下端主筋	1−D22（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PH3AGN−40

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

ベース下端：GL−400



上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	2−D10
幅止筋	1−D10 @1000
あばら筋	□−D10 @250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

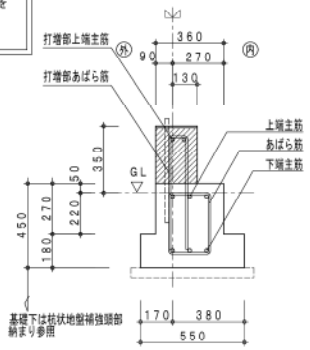
PH3AGN−55PF

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

袖壁取合いの場合、換気土台カバーを取りつけられないので注意。
（隙間をモルタルで埋めて対応）

ベース下端：GL−400

打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

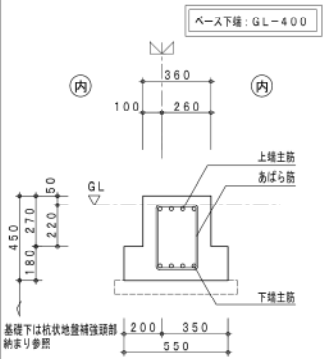


打増部上端主筋	2−D19（SD345）
打増部あばら筋	U−D10@190
上端主筋	3−D19（SD345）
下端主筋	3−D19（SD345）
あばら筋	□−D10@150
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PH3ANN−55P

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



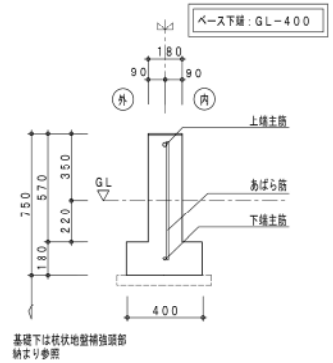
基礎天端に鋼製束が配置される場合は、束の調整が必要。（部品は同一部品）

上端主筋*	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
下端主筋*	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
あばら筋	□−D10 @190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40S

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

ベース下端：GL−400

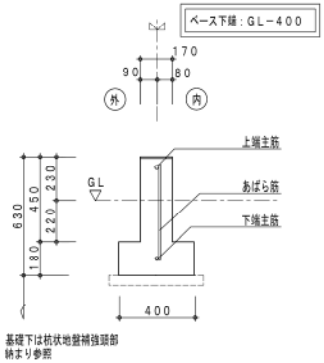


上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40C1

杭状地盤補強用外壁線布基礎（上端カット）

ベース下端：GL−400

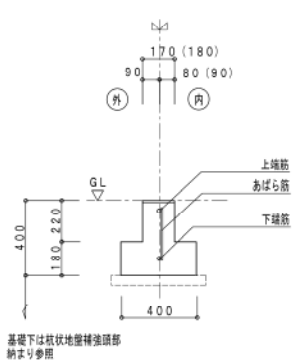


上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40（S）A2

杭状地盤補強用　外壁線布基礎（上端カット）

ベース下端：GL−400

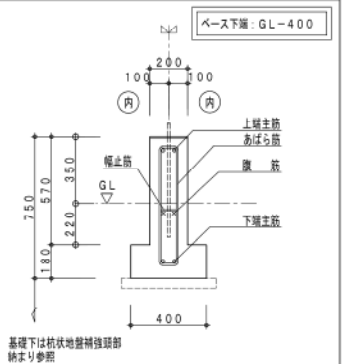


上端筋	1−D19（SD345）
下端筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

PH3ANN−40

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	2−D10
幅止筋	1−D10@1000
あばら筋	□−D10@250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

1148721130800O 2026/9/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	間宮	一級建築士 第358043号 小川 祥
その他の設計者	企画装図	生産製図
	小川	ハノイ（名古屋）

工事名称	（集合分譲）豊川市山道町ＰＪ D−ROOM新築工事
図面名称	各伏図

作成年月日

縮尺

工事番号 1142671600002

図面番号 S−01

保管図面区分 【伏図】

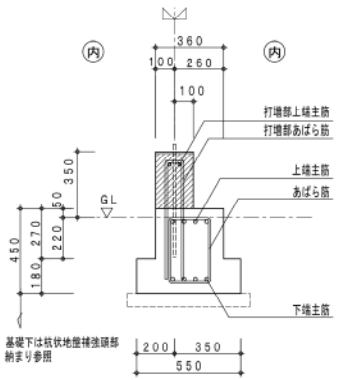
Ver 26080 102139

工事投入 2026/10/23

PH3ANN−55PF

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



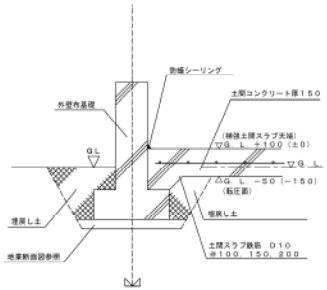
打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

基礎天端に鋼製束が配置される場合は、束の調整が必要。（部品は同一部品）

打増部上端主筋		2−D19（SD345）
打増部あばら筋		U−D10　@190
上端主筋*	or	4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
下端主筋*	or	4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
あばら筋		□−D10　@190
ベース主筋		なし
ベース補助筋		なし

凡例

補強土間スラブ



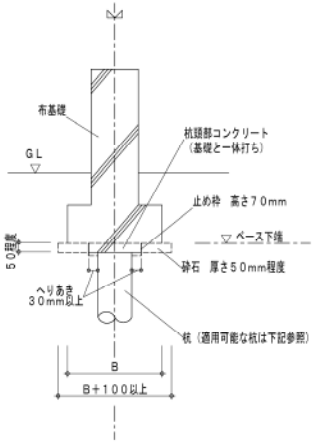
（　）は内は一般部の基礎の立ち上がりが４５０mm以外を示す。

凡例

地業断面図　D地盤

杭地業タイプA

止め枠（鋼管またはVU管）を用いる仕様



適用可能杭

・小口径鋼管杭工法
・D−TEC　SPAIRAL工法
・木杭工法
・既成コンクリート杭工法
（PC杭、RC杭、H型PC杭）
・現場打ちコンクリート杭工法
・ピュアパイル工法
等、杭径が小さいもので
かつ、止め枠がベースからはみ出さないもの

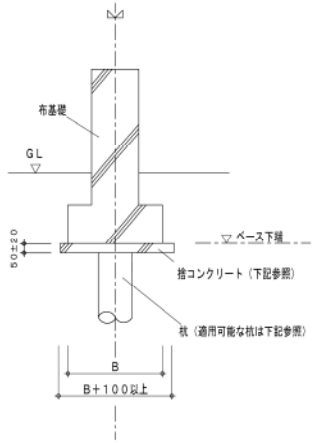
凡例

地業断面図　D地盤

杭地業タイプB

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に基礎本体の打設を行う仕様

小口径鋼管杭工法等の場合



適用可能杭

・小口径鋼管杭工法
・D−TEC　SPAIRAL工法
・木杭工法
・既成コンクリート杭工法
（PC杭、RC杭、H型PC杭）
・現場打ちコンクリート杭工法
・ピュアパイル工法
等、杭径が小さいもの。

捨コンクリート

捨コンクリート
（品質基準強度　Fq＝
21N／mm²　＋構造体強度補正値　以上）
※構造体補正値については、
JASS5　5節5．2を参照

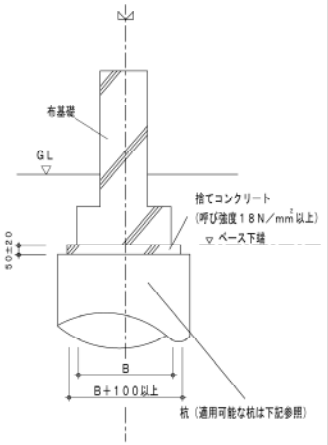
凡例

地業断面図　D地盤

杭地業タイプB

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に基礎本体の打設を行う仕様

柱状改良工法等の場合



適用可能杭

・柱状改良工法
・タイガーパイル工法
・Newタイガーパイル工法
・しん兵衛工法
等、杭径が大きいもの。

凡例

D地盤における基礎の地業

・D地盤の基礎の地業の捨コンクリートは、
厚さ50±20の範囲で施工すること。
・杭地業タイプAの場合は
砕石地業施工要領（小口径鋼管杭）
［B100−101−011］参照のこと。
・各杭工法の適用範囲及び設計条件は、
各杭工法毎の第三者機関による
建築技術性能証明の内容に従うものとする。
・各杭工法の採用できる杭径は、
杭設計システムに登録されているものに限る。
・自社工法（D−TEC　PILE工法、
D−TEC　PILE工法II、
D−TEC　SPIRAL工法）
柱状改良工法以外の杭工法の
設計施工基準については、
施工会社に確認するものとする。

11487211308000　2026/9/18

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

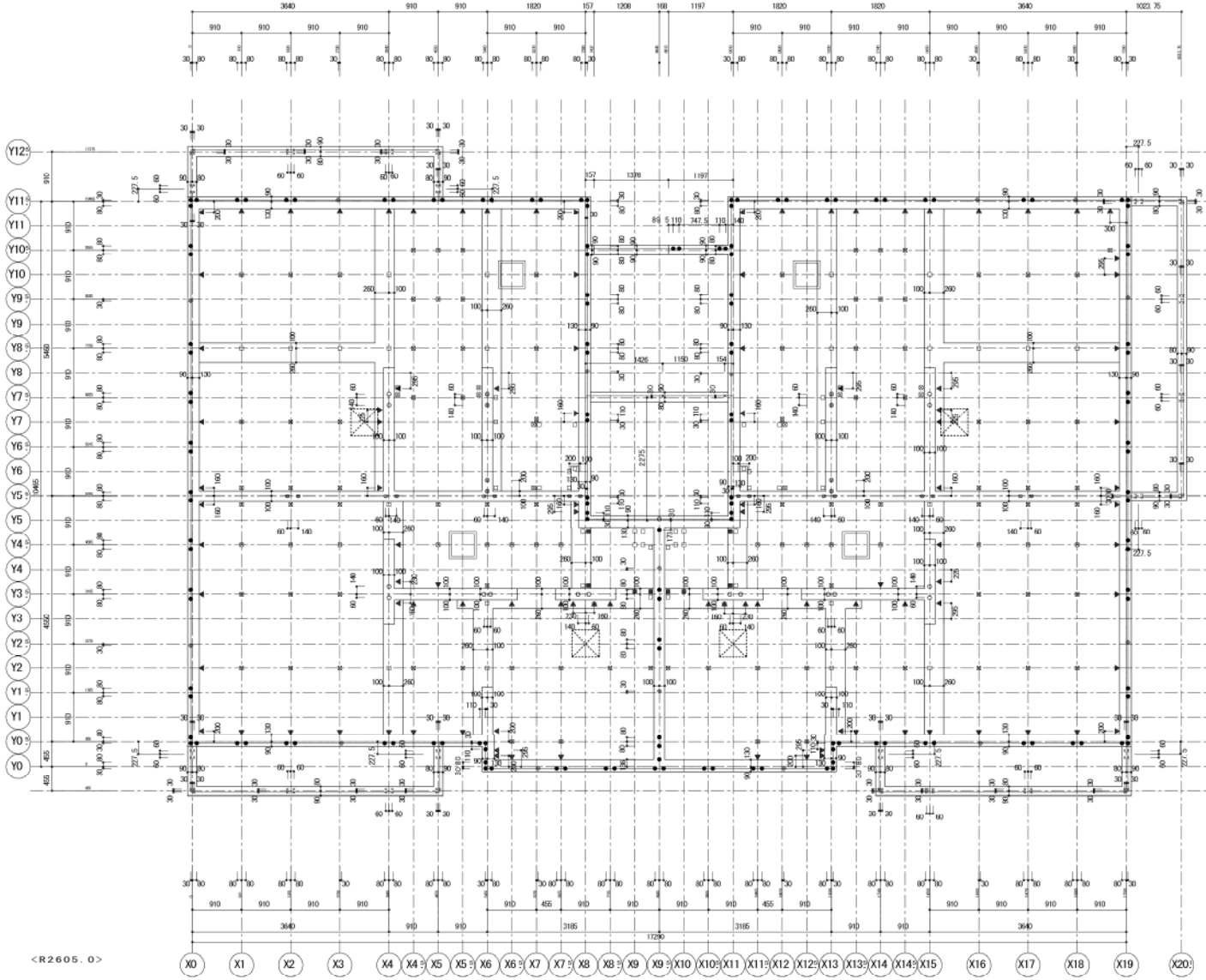
中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	関富	一級建築士　第358043号 小川　祥
その他の設計者	企画装図	生産製図
	小川	ハノイ 【名古屋】

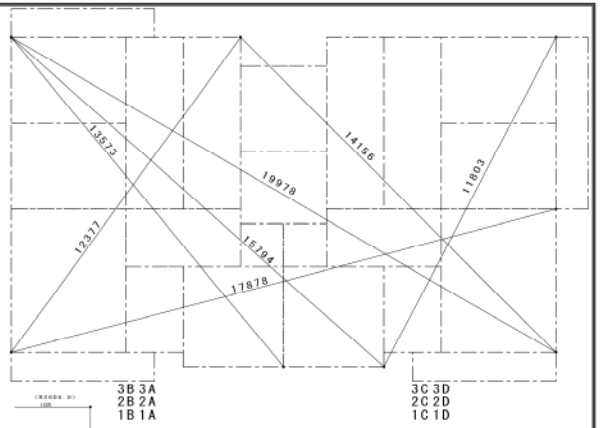
工事名称	（集合分譲）豊川市山道町ＰＪ D−ROOM新築工事	作成年月日	図面番号 S−02
図面名称	各伏図	縮尺	保管図面区分 【伏図】
		工事番号 1142671600002	

Ver　26080　　102139

工事投入　2026/10/23



【基礎立上り・アンカー伏図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／６０



【対角寸法図】ＨＶ０３　Ｓ＝１／１２０

変更内容修正済
令和　8年　10月　06日　担当　タン
図面差替え願います
集合生産設計室　生産設計2G

凡例

アンカーボルト
- ● DM20　I型 M20　L=550　（出寸法50）
- ○ DM16　I型 M16　L=520　（出寸法45）
- ※ IT22S　I型 M22　L=600　（出寸法50）
- × LM12　L型 M12　L=300　（出寸法30）
- ◈ LM16　L型 M16　L=400　（出寸法45）
  ※DM16を代わりに用いても可
- ▼ インサートナット　M－8
- 床下換気孔（丸型）　200φ
- 床下換気孔（丸型）　140φ
- 床下貫通口　500×250（200）

※深基礎がある場合、
床下貫通口は全て500×200とすること。

スリーブ
鋼製束　□ NLK－4NA　■ NLK－23NA　□ NLK－3NA

※　土間コン施工時、
腰壁・廻下柱などの部位は箱抜きを行うこと。

※　鋼製束記号末尾A付きはコンクリート釘別仕切り

凡例

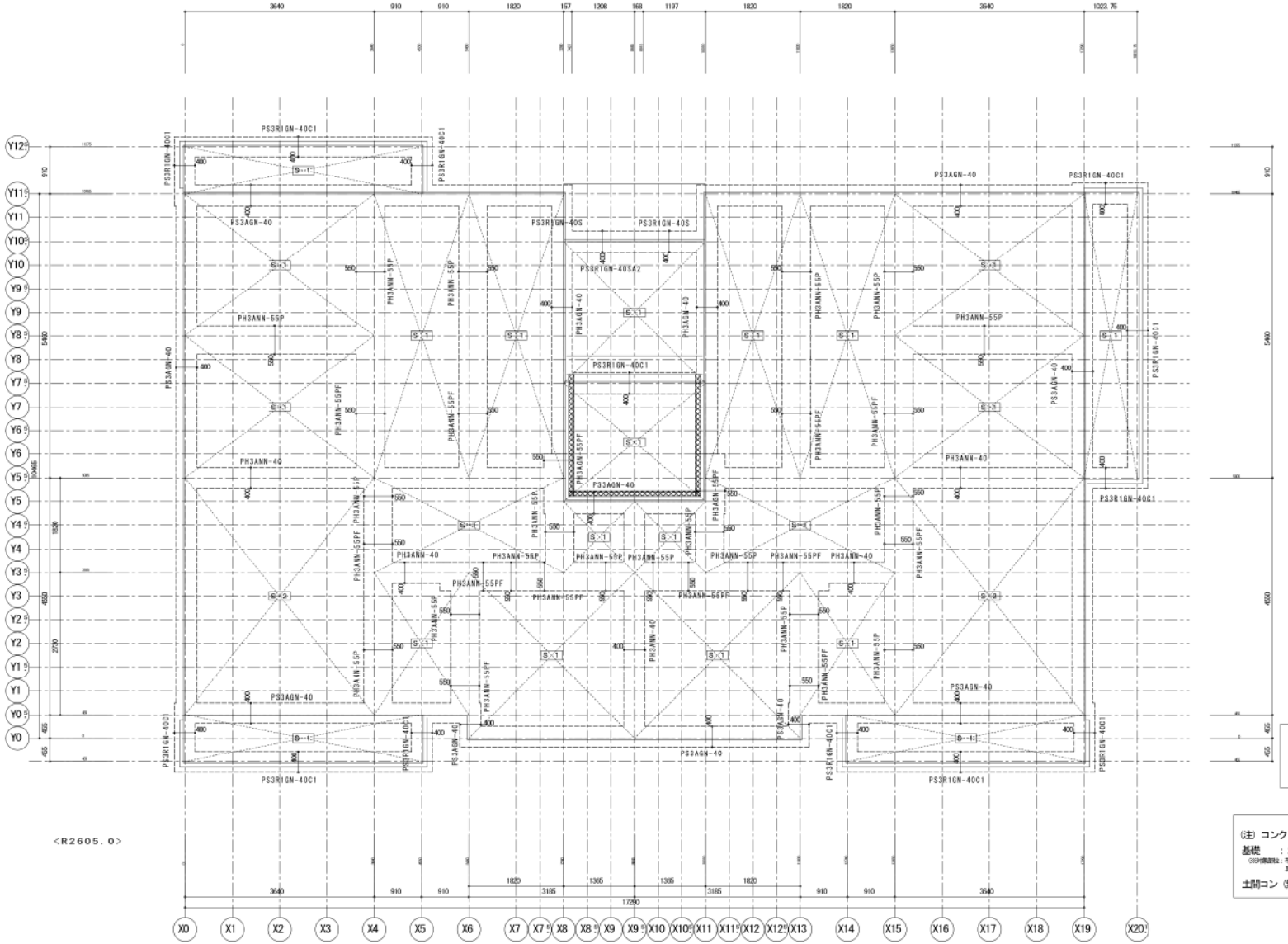
(注) コンクリート設計基準強度
基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※内容表記は：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床用剛強基礎及び杭頭接合ベース）
土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。

114872113080000　2026/10/16

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	承認 / 照査 / 作図：閲富 代表となる設計者：一級建築士 第358043号 小川 祥 その他の設計者 企画装図：小川 生産製図：ハノイ（名古屋） ＩＣ	工事名称：（集合分譲）豊川市山道町ＰＪ D－ROOM新築工事 図面名称：各伏図	作成年月日 縮尺 工事番号：1142671600002 図面番号：S－03 保管図面区分：【伏図】

Ver　26091　102139

工事投入　2026/10/23



【基礎ベース・土間伏図】ＨＶ５３　Ｓ＝１／６０

変更内容修正済
令和　8年　10月　06日　　担当　タン
図面差替え願います
集合生産設計室　生産設計2G

1148721130800O　2026/10/16

記事		承認	照査	代表となる設計者	工事名称	(集合分譲) 豊川市山道町ＰＪ	作成年月日	図面番号
			関富	一級建築士　第358043号 小川　祥			縮尺	S－04
		その他の設計者		企画製図　生産製図　ＩＣ 小川　ハノイ（名古屋）		D－ROOM新築工事	工事番号	保管図面区分
	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。			大和ハウス工業株式会社 中部集合住宅一級建築士事務所	図面名称	各伏図	1142671600002	【伏図】

Ver　26091　　102139

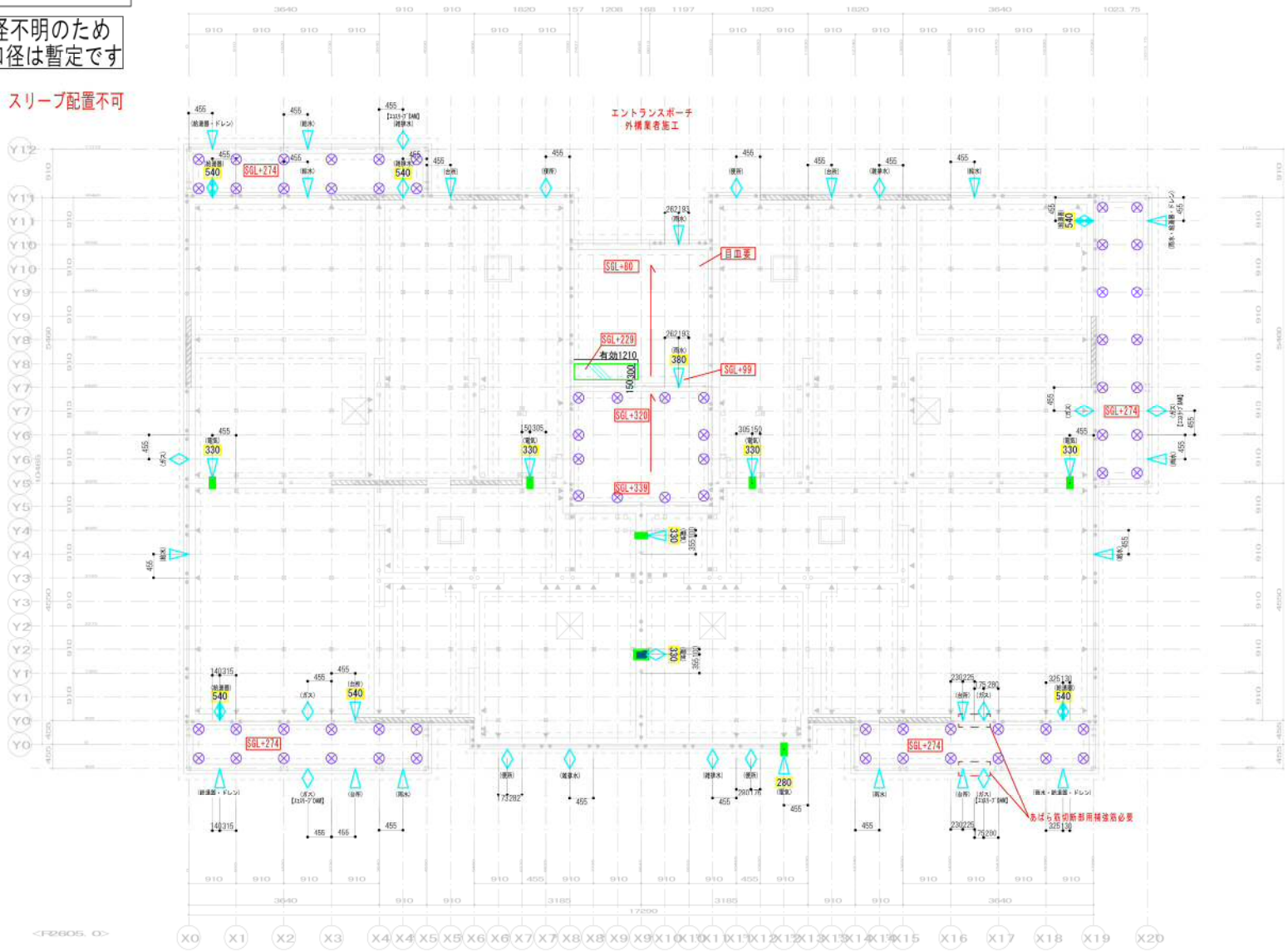
工事投入　2026/10/23

<配管スリーブ凡例>
・◇－１２５φ（補強筋有り）　：区画貫通処理 耐火材スリーブ IRNS-100 IRNS-75 IRNS-50
・▽－１００φ（補強筋有り）
・◆－　７５φ（補強筋有り）　：区画貫通処理 耐火材スリーブ IRNS-125
・◆－　５０φ（補強筋無し）　：VU管（補強土間用）
・□内数値は、本体基礎天端から スリーブ管底までの寸法とする。 ※特記のないスリーブ管底レベルは基礎ベース天とする。 ※910以下

スリーブ位置寸法は計画寸法です。
現場にて確認・調整をお願いいたします。

ガス管口径不明のため
スリーブ口径は暫定です

：スリーブ配置不可



【 基礎立上り・アンカー伏図】HV52　S=1／

※本図面の縮尺は A2サイズを標準としています。 A3サイズに印刷の場合は約 71%に寸法が縮小されます。

記事		大和ハウス工業株式会社	承認 亀山	設置	作成年月日	2026/10/22	図面番号
		中部集合住宅一級建築士事務所			縮尺	S=1/60	
					工事番号	1142671600002	保管図面区分

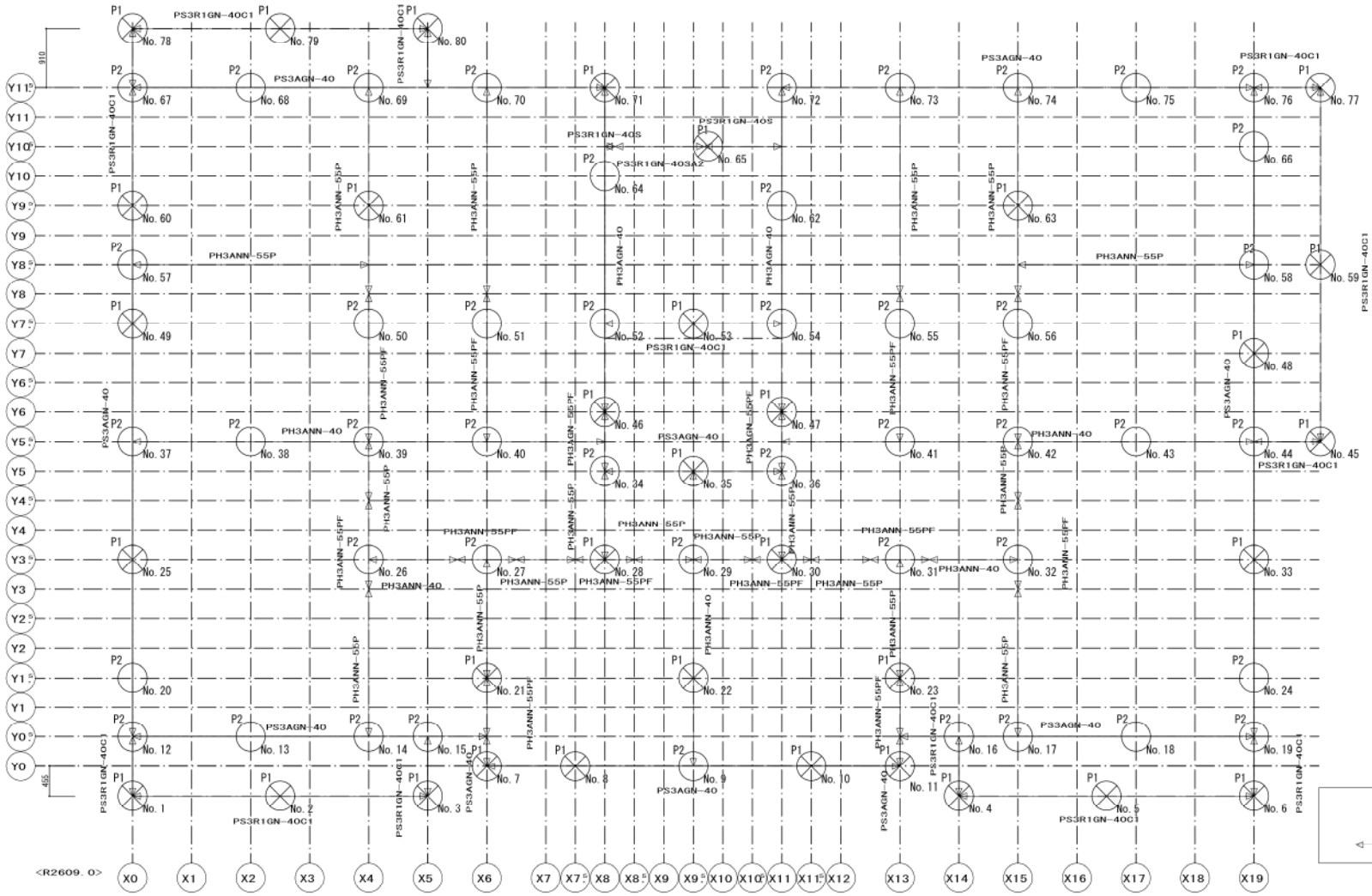
工事名称：（集合分譲）豊川市山道町ＰＪ　D－ＲＯＯＭ新築工事
図面名称：基礎付帯図

工事投入　2026/10/23

⊗ P1 タイガーパイル
段付鋼管 φ48.6mm
鋼管肉厚 2.8mm
鋼管杭長 1.5m
コラム径 φ400mm
改良体実長 1.9m
本数 34本
Fc= 900kN/㎡

○ P2 タイガーパイル
段付鋼管 φ76.3mm
鋼管肉厚 3.2mm
鋼管杭長 1.5m
コラム径 φ500mm
改良体実長 1.9m
本数 46本
Fc= 900kN/㎡

使用固化材:GS225
固化材添加量 450kg/㎥



【基礎入力図】ＨＶ５１ Ｓ＝１／５０

変更内容修正済
令和 8年 10月 06日 担当 タン
図面差替え願います
集合生産設計室 生産設計２G

11487211308000 2026/10/16

記事
※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社
中部集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
亀山	関宏	一級建築士 第350643号 小川 祥
その他の設計者		会員製図 安田 / 生産製図 ハノイ(名古屋) / ＩＣ

工事名称	（集合分譲）豊川市山道町ＰＪ Ｄ－ＲＯＯＭ新築工事	作成年月日	図面番号 S-05-1
図面名称	杭伏せ図	縮尺	
		工事番号 1142671600002	保管図面区分 【伏図】

工事投入 2026/10/23